

スプラंक(SPLK)

【セクター】 ソフトウェア

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

企業向けにマシンデータの分析ソフトウェアを提供する企業。様々なシステム、機器、アプリケーション、センサー等が生成する膨大なデータを収集して利用しやすい形に整え、カスタマーエクスペリエンスの向上、データセキュリティの確保、不正行為の検知、IT運用の効率化などに役立てようとするソフトウェアです。2021年1月期の売上構成比は、ライセンス収入が43%、クラウドサービスが25%、メンテナンスおよびサービスが32%です。2003年に創業、2012年にナスダック市場に上場しています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

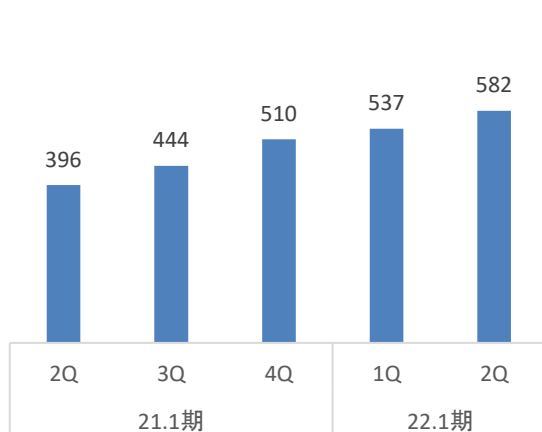
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.1期	2,359	297	1.88	0.00	12.7	-19.1	36.8
21.1期	2,229	-87	-0.55	0.00	9.8	-50.5	27.2
22.1期（予）	2,536	-245	-1.52	0.00	5.8	-21.7	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

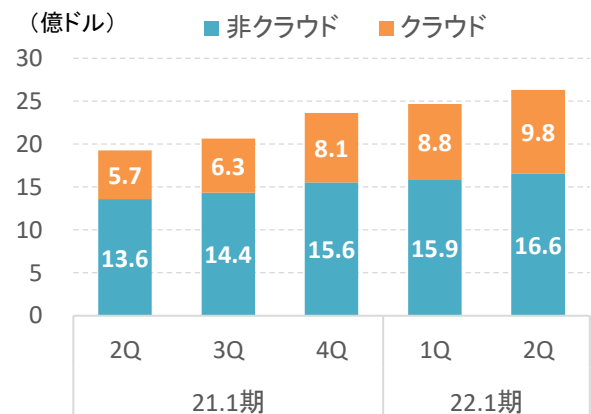
【主要指標】

年間経常収益が百万ドル以上の顧客数



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

非クラウドとクラウドの年間経常収益



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

同社売上の約半分が関係するセキュリティ情報/イベント管理分野では、ガートナー社の2021年度マジックアドラントで8年連続「リーダー」に認定、また、「Fortune100」の91社が顧客です。この分野の代表的な企業と認められ、年間経常収益が百万ドル以上の顧客開拓は順調に進んでいます。クラウドへのシフトが遅れていた分野ですが現在クラウド化が進んでおり、ソフトウェアの一括売上からサブスクリプションに移ることで、売上の伸びが鈍化、一時的に収益が悪化した形となっています。

【見通し・注目点】

5-7月期は売上が前年同期比23%増、うちクラウド売上が同73%増、年間経常収益が百万ドル以上の顧客数が同47%増でした。パンデミックによって落ち込んだ企業のIT投資意欲は順調に回復しつつあります。売上ガイダンスは、8-10月期が前年同期比12～16%増、2022年1月期が前年比14～17%増を見込みます。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 2021/8/26）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。